

南青葉だより 陽だまり

第3号 発行日：2021年5月1日

発行者：南青葉台自治会長 古谷 桂子

新年度発足のご挨拶

今年の桜は、例年になく早く終わり、新緑から眩しい季節へと、移って参りました。皆様におかれましては、相変わらずコロナ感染に留意されての毎日をお過ごしのことと思います。

自治会も、新体制で活動が始まりました。昨年度は、高齢のためとの理由で、自治会退会者が相次ぐ中、どうすれば役員、委員の負担が少しでも軽くなるのかと、いろいろ考えたあげく、自治会規約の改正を行いました。

南青葉台の高齢化に対応できるように、誰もが負担なく参加しやすい自治会活動ができるよう、進めて参ります。

「三人よれば文殊の知恵」と申しますように、みんなで知恵を出し合い、無理せず協力すれば上手くやれると言うお手本を示すべく、役員・委員一丸となって取り組みますので、会員の皆様には、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2021年 5月

南青葉台自治会長 古谷 桂子

年度初めに、ご確認を

1. お近くの方が、引っ越される!? お近くに、引っ越してこられた!?
すぐに、班長さんに、お知らせください。
班長さんは、必要書類に記入して頂いて、正田副会長へ
2. 街灯・防犯灯が、暗くなくてもつかない!?
すぐに、吉本防犯委員長に、お知らせください。
3. お家の工事や法事などで、駐車場が必要な時は!?
自治会館横の駐車場、36-15の地車倉庫空地进行、お貸ししています。
必要な方は、崎村会館委員長に、お願いしてください。
4. 廃品回収は、今年度も第3木曜日です。
自治会の活動資金になります。皆さま、ご協力をお願いします。

お互い仲良く、助け合い、安心して暮らせる 南青葉台を目指して、頑張ります！

去る4月25日の「南青葉台自治会総会」において、令和3年度自治会役員8名を、ご承認いただきました。今年1年間、ご心配事・お困り事・お気づきの事などございましたら、ご遠慮なくお申し付けください。



役 職	氏 名
会 長	古谷 桂子
副 会 長	正田 委巳
事務局長	大給 龍夫
会 計	神崎 敬士
広報委員長	堀江 正彦
会館委員長	崎村 秋代
防犯委員長	吉本 義幸
環境衛生委員長	谷頭 映子
事務局員	氏 名
自治会だより担当	井上 壽子
敬老・子どもふれ合い	中井 敏子
会計業務補佐	増本美智子

南青葉台自治会の 活動状況と予定

4月 7日	臨時役員会
4月11日	臨時役員会
4月16日	会館周辺花植え
4月25日	自治会総会
5月 9日	定例役員会（予定）
5月 中旬	共同募金（予定）
5月20日	廃品回収日
6月13日	定例役員会（予定）
6月17日	廃品回収日



スピードの出しすぎに注意！

南青葉台地域の制限速度は、「30キロ」です。写真のカーブは見通しが悪いうえに、通学路となっており、スピードを出しすぎないように特に注意をお願いします。



編集後記

新型コロナウイルス感染の拡大が止まらず、より感染力の高い変異株が急増しています。大阪府全体では、1日に1200人を超える感染者（4月16日現在）が報じられる状況です。河内長野市の感染者は累計で400人程度となっていますが、市内においても学校関連施設や高齢者関連施設で、クラスターの発生が報告されています。不要不急の外出・移動は避け、自らと家族、そして地域住民の「命を守る行動」をお願いします。

加賀田地区の民話 第3話

今回も、加賀田についてご紹介したいと思います。

「加賀田地区は、昭和29年4月1日に町村合併して、河内長野市に組み込まれるまでは加賀田村と呼ばれていた地域で、明治時代まで遡(さかのぼ)ってみると、加賀田村は、加賀田川の本流の加賀田村、唐久谷の谷川を遡った唐久谷村、旧街道に近い石仏村との三つに分かれていたことがわかります。

これらの地域を概観すると、田畑の耕作をよりどころにしていた平坦部と山野をよりどころにしていた山間部とでした。平坦部では、当然のことながら、田造りにちなんだ伝承が多い。かつて田植えは女性一早乙女—によってなされ、一人前の早乙女になるために、田植えの上手な先輩について、子どもの頃から教えてもらったという。

また、生活の安定を図るため、薬草としてのバクモンドウ(麦門冬)—皆さんご存知のジャノヒゲとかリュウノヒゲとかいわれる植物の根の瘤(こぶ)—を栽培し、山間部では、山野の冷気を利用しての高野豆腐づくりをしていた。」 「加賀田地区の民話」より要約
次回からいよいよ地域の方々からの伝承を！

令和3年度自治会総会の表決結果について

新型コロナウイルス感染防止の観点から、回覧による書面表決といたしました。

令和3年4月25日(日)に自治会役員による集計の結果、決算[1号議案][2号議案] 予算[1号議案][2号議案][3号議案]すべてにおいて賛成多数により可決されました。

皆様のご協力ありがとうございました。

表決結果の詳細につきましては、別途、掲示板と回覧にてご報告いたします。



『お買い物便、ご利用ください』

どなたでもお買物ができます

利用されている方のお声

- ★ お買い物に不便なので大変助かります。
- ★ ご近所の人と久しぶりに会って話げできた。
- ★ 商品を手に取って、その場で買物ができるのが嬉しい。
- ★ 足が悪いので、1週間分の買物をしていきます。
- ★ 車が運転できないので、とても助かって、います。



～ 青葉台のお宝さん ② ～

南青葉台地区には、素晴らしい人物や場所、風景、物が多くありますので、このコーナーでご紹介して参ります。今回は、江里口 義人氏です。

金剛山(1,125m)に **5,120** 回登った人 江里口(えりぐち)義人(よしひと)さん
プロフィール

年齢：77歳 昭和51年12月南青葉台に転入
南青葉台防災委員会、地区福祉委員会メンバー
趣味：山登り、水墨画、ゴルフ、山岳写真撮影



花冷えのする日、にこやかなご夫婦に迎えられ、お宅を訪問させて頂きました。

Q : 連続登山をされるようになったきっかけは何でしょうか？

江里口氏：現職時代、運動不足解消のために、昭和53年頃から月に1, 2回登っていましたが、退職を機に、練成会に入会して連続登山を始め、月に20回以上は登るようになり、令和3年3月15日現在、通算5, 120回登りました。

Q : 連続登山にまつわるエピソードはありますか？

江里口氏：山登りの仲間が増え、仲間たちと「日本百名山」や「関西百名山」を踏破しました。また、「四国八十八箇所巡り」を歩き遍路で結願しました。

Q : 連続登山の醍醐味を教えてくださいませんか？

江里口氏：達成感もさることながら、醍醐味は、やはり「続けること」です。
100回、200回など、節目節目に頂上で開催される祝賀会は、感動ものです。
今後も体力の許す限り、続けたいと思っています。

Q : 常日頃から思われていることはありますか？

江里口氏：ここまでやってこられたのは家内の気遣いや支えがあったからです。
決して一人ではやってこられませんでした。家内に感謝しています。

